

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、元浜圏域） 第3回会議 議事録

開催日時	令和6年3月1日（金）10時00分から11時30分まで
参加者	委員：8人 事務局：3人 その他：8人（高齢者福祉課：1人、中区長寿保険課：2人、地域包括支援センター元浜：3人、曳馬協働センター コミュニティ担当：1人、事業所：3人）
場 所	アイミティ浜松 大会議室
内 容	<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶 元浜圏域協議体会長</p> <p>3. 協議事項</p> <p>(1) 前回会議の振り返り 前回は「地域での居場所」をテーマに会を進行。 内容については、下記の通り。 ① 地域の居場所づくりについて ・子ども食堂等の事例紹介 浜松市社会福祉協議会 CSWより ・浜松市内外におけるさまざまな「居場所」 ② 浜松市の高齢者の状況について説明 ③ グループワーク</p> <p>(2) CSWより 浜松市社会福祉協議会 浜松地区センターCSWより、地域の状況について報告。</p> <p>(3) 中沢マルシェについて 地域包括支援センター元浜より令和5年12月21日よりスタートした中沢町で実施している“中沢マルシェ”について紹介。 近くにスーパーがない中沢町の住民から「買物が大変になってきた」「一日誰とも会わない日がある」という声を聞き、中沢町内の3箇所に移動スーパーを導入し“中沢マルシェ”としてスタート。移動スーパーだけでなく、地域の人が輝ける場所として、移動スーパーだけでなく花の苗の販売やハンドマッサージや整体など、地域の人々の協力で様々な取り組みも展開。</p> <p>～中沢マルシェの取り組みを通して～ ・普段なかなか会うことができない近隣住民と会うことができる ・閉じこもりがちな高齢者が外に出て人と交流する機会に ・地域の高齢者の「居場所」のひとつとなる →高齢者の孤立防止や見守りにつながる</p> <p>(4) グループワーク 曳馬地区、北地区に分かれて、今後の中沢マルシェの展開や、地域内で買い物に困るエリアについて地図を広げて確認しながら意見交換を行った。</p>

	<p>4. 連絡事項</p> <p>5. 閉会 元浜圏域協議体副会長</p>
今後の見通し等	<p>今回は、中沢町の移動スーパー「中沢マルシェ」の取り組みを中心に協議を行った。移動スーパーだけでなく、花の苗を売ったり、マッサージや整体などを取り入れたり、買い物だけでなく地域の人が立ち寄り楽しめるイベントを展開している中沢マルシェ。今後、他町での追加実施や中沢マルシェで地域の人が活躍しながら取り組める方法について検討していきたい。また、北地区ではスーパーがなく困る一方、曳馬地区ではスーパーが多くある。両地区の特徴を踏まえ、来年度以降の協議体としての取り組みを検討していく。</p>